

TO NEWS

life with sTone
～ 石の温もりを、暮らしの中に～

みなさんこんにちは！

作業をする際の工具に関して選択されるポイントとは何でしょうか？ 価格？ 性能？ ブランド？ 口コミ？ など選択ポイントは多数ございますが、今回のTO.NEWSは、墓じまいで使われる工具について、基本的な観点から過去の経験・知識をフルに活用した当社のおススメについてご案内いたしますのでご一読ください。

TOPIC 1 墓じまいに関する電動工具について

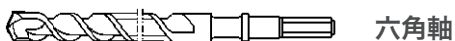
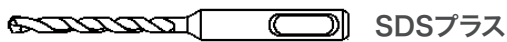
新規の墓の建立よりも多いと言われる墓じまい。墓じまいを少しでも簡単にできるように、今回はQ&A形式にておススメ商品をご紹介します。

Q1 穿孔ドリルには振動ドリルとハンマードリルがありますが、違いは何ですか？

A1 どちらもビットで穴をあける機械ですが、違いは動作による開け方です。ハンマードリルは回転に加え強い打撃を与えながら穿孔します。かたや振動ドリルは字のごとく回転に微弱的な振動を加えて穿孔します。

そのため打撃を加えることで割れやすいモノ(タイルやレンガなど)にはハンマードリルより振動ドリルの方が有効です。また、石材に比較的小さな穴(5～6mm程度)を穿孔する場合は振動ドリルの方が綺麗に穿孔できますが、逆にそれ以上の大きな穴を穿孔しようとした場合は、振動ドリルですと作業に時間がかかりすぎるため、ハンマードリルの方をお勧めいたします。

Q2 穿孔するドリルビットには



とありますが、それぞれの違いは？
またお勧めはどれですか？

A2 大きな違いは軸径の太さと形状です。そもそも六角軸は日本だけの規格で、昔、国内で販売されていたハンマードリルはほぼ六角軸でした。後に海外より世界共通のSDS規格が入ってきたことで、現在では六角軸とSDS軸が混在している状況となっています。

また「SDSプラス」と「SDS-max」の違いは機械能力に対応できるかです。「SDS-max」タイプの方がより大きな力を有する作業(大径穿孔など)に有効な機械です。アンカーの下穴穿孔やちょっとした小ハツリであれば「SDSプラス」タイプの機械がお勧めです。ハツリを多くされる場合は、「SDSマックス」をお勧めいたします。

Q3 石材を割る際に使用するセリ矢ですが、下穴を穿孔する際のおススメ電動工具は何ですか？

A3 セリ矢のサイズは基本16mmまたは19mm(または20mm)が多いと思われますので、穿孔能力が24mm以上クラスであれば対応可能です。その中でのお勧めは




HILTI(ヒルティ)	HiKOKI	マキタ
TE6-CL	DH24PG2	HR2601F
		

下穴19mmの穿孔にはもう少しパワーが欲しいと思われる方にはSDS-max仕様のこちらがお勧めです。

HILTI(ヒルティ)	HiKOKI	マキタ
TE50AVR	DH40MC	HR3541FC
		

Q4 墓の基礎(コンクリートベース)をハツル際に適した電動工具は何ですか？

A4 ここでは打撃エネルギーが選択のポイントとなります。できれば打撃エネルギーが10J(ジュール)以上の機種がお勧めです。本体重量も10kg前後と比較的扱いやすく、手持ちにて縦面のハツリ作業にも対応可能です。

HILTI(ヒルティ)	HiKOKI	マキタ
TE700AVR	H41MB2	HM0871C
		

パワーのいるコンクリートベースのハツリのみで特化したいと思われる方はこちらの機種がお勧めです。

HILTI(ヒルティ)	HiKOKI	マキタ
TE2000AVR	H65SB3	8600S
		

Q5 最近では充電式の電動工具も増えていますが、実際にコード式と充電式どちらが良いですか？

A5 確かに充電式（バッテリー式）が近年急激に増えております。どこでも使用できるので、便利ではありますが、まだ充電式は価格が高いため、電源が比較的容易に準備できる環境であれば、費用対コストを考えコード式をお勧めいたします。最新の充電式は同一メーカーであれば機能が違う商品同士でバッテリーの互換使用ができます。バッテリー一つで、様々な機種（グラインダー・インパクト・保冷ケースなど）の使用が可能となり便利です。ただ、使用条件により、使用可能時間が変わりますので、こまめに充電されることをお勧めいたします。

Q6 ドリルビットやハツリのブルポイントなどを、長く使用するための注意点はありますか？

A6 機械本体に装着する際にグリス（潤滑油）をシャンク部に塗布して装着すると作動性がよくなります。また、作業を急ぐあまり力任せに作業をする場合がありますが、ビットへの負荷だけでなく機械本体へも負荷がかかりすぎ、故障の原因になります。作業の基本は機械の重量に任せ、無理に押さえつけない力加減での作業をお願いいたします。また、ビットなど超硬工具は続けて使用すると熱を持ち本来の性能よりライフが短くなる場合が多くあります。何本かで交換しながら作業することや、水などで熱を取って作業されることで、本来の性能通りに使用することができます。

TOPIC 2 マスクフィットテストを試してみました



フィットテストキット FIT-II型

4月より改正施行された労働安全衛生法により、保護具着用に関して年に一度のマスクフィットテストの実施が義務付けられました。今回はこのテストを実際に体験した感想をレポートします。

試した商品は興研株式会社より発売されている「フィットテストキットFIT-II型」です。JIS T8150:2021に基づいた定性的なテストを実施できます。

手順は簡単です。保護マスクを着用し専用のフードをかぶり、付属の甘味成分であるサッカリンナトリウム溶液をフード内に噴霧することで、甘みを口内で感じるかどうかのテストです（臭くありません）。取説通りに実施した結果、比較的スムーズにテストが実施できました。

今回のテストで学んだことは、保護マスクの着用方法でした。自分自身ではしっかりと着用していたつもりでしたが、実は着用が甘くマスクの効果が十分に発揮されていませんでした。精査したところ、従来の着用方法では鼻とマスクの間に隙間がありました（写真A）。

臭いの感じないマスクの位置は、思った以上に下側に装着しなければなりません（写真B）。顔・鼻の形状・大きさにより、着用方法は注意しなければいけないことが理解できました。

今回の安衛法の改正で年に1度、マスクフィットテストの実施が義務付けられました。今回テストに使用した「フィットテストキットFIT-II型」は価格もリーズナブルですし、使用方法も動画で見るのが可能ですので、お勧めです。動画をご覧になりたい方はこちらのサイト（<https://www.koken-ltd.co.jp/welding/fit-2.html>）にてご登録後視聴可能です。



写真A

写真B

TOPIC 3

「コーキングガン YCG2300HC」

おすすめ商品

PICK UP!



1液性カートリッジ接着剤（通称コーキング）の施工時にはハンドガンが必要です。今回は当社イチ押しのコーキングガンをご紹介しますので、ぜひ一度お試しください。

お勧めポイントは次の通りです。

- ①強力型ハンドルにより、粘度の高いコーキングも楽々打ち出し可能なため手が疲れません
- ②ハンドル部のトリガーも握りやすく比較的手の小さな方でも楽々操作
- ③カートリッジ装着時のグラつきがなく安定した作業が実現
- ④安心の品質 日本製

藤栄株式会社

大阪本社 〒578-0944 大阪府東大阪市若江西新町4-5-25
東部営業所 〒327-0817 栃木県佐野市伊勢山町14-10

ウェブサイト
<https://touei.ne.jp>



フェイスブック
<https://www.facebook.com/touei.kenzai/>



商品についてのお問い合わせ・ご注文等は、お近くの石材工具販売店様までお問い合わせください。

TOUEI ドットニュースは、メールでいち早く配信しております。配信をご希望の場合は、web@touei.ne.jp へ、メールの本文欄に会社名・お名前をご入力の上、送信ください。（右側のQRコードで、上記のメールが開きます）

